【 市川三郷町立六郷中学校 】 ＜ Tel ＞ 0556-32-2042 ＜ FAX ＞ 0556-32-2268 ＜ URL ＞ http://www.rokugo-chu.ed.jp

六郷中だより

六郷中学校だより第９号
令和７年１０月２７日
〈六中ＨＰ〉
発行・文責：校長 宮澤 研

10月に入り、やっと秋晴れの日が続くようになりました。学校の周りに目を向けると、山田川にある桜の木の葉が紅葉も迎えることなく、もうほとんど落ちて、また秋の花粉も本格的に舞い始めました。さらに、全国的にインフルエンザが流行しはじめ、すでに学級閉鎖や休校となった学校も出ています。一日の中の寒暖差が大きいため体調を崩しやすい時期です。身体を冷やさないよう、暖かくして寝るなど、日頃から健康維持を心がけましょう。

さて、令和8年度も折り返しを迎えました。18日（月）より、後期の時間割がスタートしました。前期を振り返り、個人・学年としても成果を伸ばし、課題となっているところを少しでも改善できる後期としましょう。

2年生　武道(柔道)の授業



9月18日（金）から10月1日（金）までの五日間、いきいき人材活用事業として、2年生の体育の授業で柔道に取り組みました。今年度も土橋忠さんを講師にお招きしました。

授業では、受け身に始まり、投げ技や寝技など一通りの内容を合計１０時間かけ、学びました。武道を学ぶのは、中学校３年間でこの機会だけです。授業はとてもわかりやすく楽しかったようで、もう少し柔道の授業をしたかったとの感想が多く聞こえました。

頑張りました　新人戦！！

今年度より峡南地区新人大会は、県新人大会の予選として実施する部活動だけ、峡南予選として開催することとなりました。

本校では、ソフトテニス部が3日（土）に個人戦、4日（日）に団体戦を、男子は利根川公園、女子は身延中学校を会場として実施しました。



個人戦では、男子２ペア・女子３ペアが10月31日からの県大会の出場権を獲得しました。

また、団体戦では、男子は団体戦の６名中５名が１年生、女子も１年生を１人選手に加えながら、男女ともに、11月1日の県大会の出場権を獲得しました。

峡南地区予選で課題となった点の克服を目指し、県大会では悔いの無い試合となることを期待しています。

☆個人戦

男　子

塩部・伊東ペア　ベスト８　県大会出場
芦澤・望月ペア　ベスト８　県大会出場
秋山・坂牛ペア　２回戦敗退

女　子

原田・長田ペア　ベスト４　県大会出場
齊藤・遅沢ペア　ベスト８　県大会出場
津田・望月ペア　ベスト８　県大会出場
望月・渡邊ペア　１回戦敗退

☆団体戦。

男　子　【団体戦４位】

六郷中１：２南部中　六郷中０：３富士川中
六郷中３：０市川中　六郷中１：２身延中

女　子　【団体戦２位】

六郷中３：０三珠中　六郷中２：１市川中
六郷中２：０富士川中

睡眠学習会を実施しました！



９月３０日（水）に、東洋羽毛株式会社の梅田さんを講師に招いて「睡眠で未来が変わる！」の講演会を実施しました。一律に決まった睡眠時間をとるのではなく、一人一人適切な睡眠時間があること。睡眠をしっかりとることによって、勉学やスポーツ面においても成績が上がったり、病気にかかりづらくなったりすることなどを学びました。

生徒のアンケートには「今日の夜から生活を見直したい」「睡眠によってパフォーマンスが向上したり、集中力ややる気がＵＰするからしっかりと寝たい」「寝る前にスマホを使い過ぎていると思うから、その時間を減らして睡眠時間をのばしたい」との感想があげられました。全国学力状況調査の質問紙の結果からも、「スマホ等の端末使用時間」と「動画等の視聴時間」が長いことがわかっています。この二つの時間を自分自身でコントロールして睡眠時間を確保したいものです。

峡南地区英語暗唱大会

10月１４日（水）に、峡南地域英語暗唱大会が中富総合文化会館を会場に開催されました。

１年生は雨宮・栗冠ペア、２年生は望月さん、３年生は志村さんが本校を代表して出場しました。



放課後の部活動の時間なども活用しながら、英語科の小林先生やALTのジョーダン先生とともに練習を重ねてきました。



その成果もあり、１年生の部は最優秀賞、２・３年生も優秀賞という成績を残すことができました。日常的に英会話を重視する英語の授業の成果がでた大会でした。

PTA教育講演会　AIについて学びました！

10月16日（金）に、六郷中学校PTA教育講演会を開催しました。PTA執行部や研修部の皆さん、平日の午後の開催でしたが、講演会の運営、ありがとうございました。





今年度も、PTA教育講演会では、「フォネット」の後藤さんを講師にお招きし、スマホの上手な関わり方や危険性についても講演していただきました。

また、今年度は学校からの希望として、特に「AI」についての講演を加えていただきました。ここ数年の「AI」の進化はすさまじく、ほとんどすべての人が気づかないうちに、その恩恵にあずかっています。また、積極的に活用している人もいるのではないでしょうか？　身近なところでは、本校でも学園祭のステージバックの原画作成や、オープニングやエンディングの動画の作成だけでなく、このPTA教育講演会のチラシも「AI」に作成してもらいました。

さて、そんな便利な「AI」ですが、ある統計では約86%の人が「AI」の回答を信頼していると答え、約80%の人がその回答に間違っていたり嘘であったりした経験があると答えています。

また、過去に「AI」の嘘や間違いを経験している（あるいは嘘が含まれている可能性があると知っている・疑っている）」にもかかわらず、回答の便利さやもっともらしいトーンに流されて、「AI」の回答をそのまま信じてしまう、あるいは検証せずに受け入れてしまう傾向は、利用者の半数近くにのぼるとの統計もあります。さらに10～20代の若者は、人に聞かれたくない内容や知られたくない内容ほど、「AI」に相談すると回答しています。

これだけ日常に入り込み、便利な道具としての「AI」であるからこそ、人が主体的となって使いこなすモノでなければならないと考えます。これからの生活になくてはならないモノだからこそ、その利便性だけでなく、危険性についてもしっかりと理解し